

親子向け公演

協賛 アサヒビール(株)、ニッカウキスキー(株)

入場無料
おみやげ付

山形弁で聞くむかしばなし

夕鶴

(つるのおんがえし)

「むかし、あつたけずまなあ…
とーびんと」



みなさん、「つるのおんがえし」という昔話を知っていますか？
タンチョウというと北海道にしかない鳥という印象ですが、昔は本州にもすんでいたという記録が残っています。
そのおかげで、昔話や地名など、さまざま場面で登場します。
このたび、山形県南陽市から語り部の方をお呼びしました。
山形弁で語り継がれる民話を、聞いてみませんか？

日時 平成25年7月6日(土) 全2回公演
① 午後2時20分から ② 午後3時40分から
※いずれも30分程度の公演です。

場所 釧路市観光国際交流センター(ラムサール記念センター)
1階ホール(釧路市幸町3-3、定員各回50名)
※定員を超えた場合は、入場をお断りする場合があります

主催 公益財団法人北海道環境財団
ラムサール条約釧路会議20周年記念事業実行委員会

語り部
たせい くみこ
多勢久美子さん
(山形県南陽市「夕鶴の里」民話会ゆうづる会長)

お問い合わせ
公益財団法人
北海道環境財団
☎011-218-7811

※この催しは、アサヒビール(株)が、北国を代表する鳥・タンチョウの存続を願って『公益財団法人北海道環境財団』のタンチョウ・釧路湿原保護運動に、ニッカウキスキー商品の売上金の一部を寄付する「鶴の恩返しキャンペーン」の一環として実施します。
※ どなたでも参加できます。申し込みは不要です。直接会場におこしください。
※ 同日午後6時半より、同ホールで楽しいお話しも含めた90分間の公演も実施します。ぜひ週末の夜、楽しい時間をお過ごしください。【裏面参照】

※この催しの開催に際して排出されるCO2の一部は、定山溪鶴雅リゾートスバ森の調の削減事業で創出されたクレジットを活用してオフセットしています。

協賛 アサヒビール(株)、ニッカウヰスキー(株)



(鶴の恩返し)

夕鶴

山形弁で語り継ぐ民話

むかし、あったけずまなあ・・・と一びんと

その美しさから古来親しまれてきた鳥、タンチョウ。

日本人の心に深く関わり、昔話や地名、お酒の名前までさまざまな場面で登場します。

歴史を辿るとタンチョウは本州にも生息していたことがわかります。

山形県南陽市の「夕鶴の里」の語り部が山形弁で語る「夕鶴」を聞きながら、楽しい夜を過ごしてみませんか？

「夕鶴」の語りと楽しいお話し

多勢 久美子さん (山形県南陽市「夕鶴の里」民話会ゆうづるの会長)

日時

平成25年7月6日(土) 入場無料・おみやげ付
午後6時30分～8時(開場午後6時)

場所

釧路市観光国際交流センター(ラムサール記念センター)
1階ホール(釧路市幸町3-3、定員150名)
※定員を超えた場合は、入場をお断りする場合があります

※ 必ずお申込みください！

【お問い合わせ、お申込み先】 公益財団法人北海道環境財団 011-218-7811

※ どなたでもご参加いただけます。

※ 同日同場所で、14:20～、15:40～(いずれも30分)の2回、親子向けの公演もございます。

主催 公益財団法人北海道環境財団、ラムサール条約釧路会議20周年記念事業実行委員会

※この催しは、アサヒビール株式会社が、北国を代表する鳥・タンチョウの存続を願って『公益財団法人北海道環境財団』のタンチョウ・釧路湿原保護運動に、ニッカウヰスキー商品の売上金の一部を寄付する「鶴の恩返しキャンペーン」の一環として実施します。

※この催しの開催に際して排出されるCO2の一部は、定山溪鶴雅リゾートスバ森の調の削減事業で創出されたクレジットを活用してオフセットしています。